

●宇治市公共施設等総合管理計画(初案)に寄せられたご意見(パブリックコメント)及びそれに対する宇治市の考え方

1. 本計画対象内容に関する意見と考え方

No.	ご意見等の概要	市の考え方	修正の有無
1	<p>公共施設の総量を今後30年で延べ床面積を20%削減することを目標とするとあるが、廃止・統廃合されることに反対です。インフラ資産は数値目標を掲げず、公共施設のみ延べ床面積20%削減の方針はいかがなものかと思えます。</p> <p>宇治市は人口増加を目指すべきであり、住みやすいまちを行政が計画するのでなければなりません。</p> <p>住民のくらしとリンクした公共施設のあり方を検討すべきです。</p> <p>【同様の主旨のご意見:他に6件】</p>	<p>本市が保有する多くの施設は建設から相当の年数が経過し、大規模な改修や建替えが必要となることを見込まれています。また、今後も、人口減少や少子高齢化の進展が予測される中において、施設の老朽化や市民ニーズの変化、厳しい財政状況などにより、全ての公共施設を維持していく事は難しいと考えております。</p> <p>本計画においては、単に公共施設を減らすのではなく、将来のまちづくりを見据える中で、公共施設が担う役割を十分認識しながら、市民の皆様との協働により、魅力あるまちづくりを進めるとともに、公共施設の更新・統廃合・長寿命化等に取り組んでまいりたいと考えており、今後の公共施設等全体についての総合的かつ計画的な管理に関する基本方針等を定めた「宇治市公共施設等総合管理計画」の策定を進めているところです。なお、インフラ資産については市民生活の基盤となるため削減目標は掲げず、今後の人口動向やまちづくりの展望を見据えながら、保有量の適正化に努めるとともに、空き地等の活用についても検討することとしております。</p> <p>なお、本市では人口減少対策として、平成27年に「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口の歯止めと今後の持続可能な発展に向け、「宇治市人口ビジョン」を定め、各種施策に積極的に取り組んでいるところです。</p> <p>また、より良いまちづくりを目指し、市民の皆様との協働により、さらなるまちづくりや公共施設等のあり方の検討を進めてまいりたいと考えております。</p>	無

1. 本計画対象内容に関する意見と考え方

No.	ご意見等の概要	市の考え方	修正の有無
2	<p>現在使用している施設は、残すか立て直してほしいです。利用頻度等だけを見るといことなく、廃止、統廃合については慎重を期すべきだと思います。</p> <p>30年で20パーセント削減が、施設がいくつ無くなるか具体数がないが、削減目標にあわせて削減基準をつくるのでしょうか。</p> <p>【同様の主旨のご意見：他に5件】</p>	<p>公共施設は、今後更新時期を迎える施設が多くあるため、そのまま全てを保有し続けると、更新費用が5年平均（平成22～平成26年度）より毎年約9億円が必要となる試算結果（本市独自の単価を用いた総務省公共施設等更新費用試算ソフトによるシミュレーション結果）となっており、この更新費用を現在と同規模にするためには、全施設一律的に延べ床面積を削減する場合は約23%の削減が必要と考えられますが、公共施設は市民生活において、重要な役割を担うことから、公共施設の長寿命化に取り組むとともに、より効果的・効率的な管理運営に努め、維持・更新費用等の縮減にあわせて取り組むことで、30年後の人口減少率である20%を削減目標としております。</p> <p>なお、本計画を着実に実現するためには、全庁的組織である「宇治市都市経営戦略推進本部」による本計画全体の進捗管理とともに、市民参画・協働によるまちづくりの推進とあわせて、本計画の各種方針に沿った個別施設管理実施計画の策定及び実施が重要な役割を担うと考えており、各公共施設の状況に応じて、今後、策定する個別施設管理実施計画では、本計画で掲げる公共施設全体の削減目標値を踏まえながら、市民が参画する機会を確保するなどした上で、各種方針に沿って具体的な内容や年次計画を策定してまいりたいと考えております。</p>	無
3	<p>現在の場所でバリアフリー対応の改修をしてください。</p>	<p>本計画を着実に実現するためには、全庁的組織である「宇治市都市経営戦略推進本部」による本計画全体の進捗管理とともに、市民参画・協働によるまちづくりの推進とあわせて、本計画の各種方針に沿った個別施設管理実施計画の策定及び実施が重要な役割を担うと考えており、バリアフリー対応の改修も含めて、各公共施設の状況に応じて、今後、策定する個別施設管理実施計画において、本計画で掲げる公共施設全体の削減目標値を踏まえながら、市民が参画する機会を確保するなどした上で、各種方針に沿って具体的な内容や年次計画を策定してまいりたいと考えております。</p>	無

1. 本計画対象内容に関する意見と考え方

No.	ご意見等の概要	市の考え方	修正の有無
4	<p>施設整備のバランスが、アンバランスに思える。国の補助金を使うことは必要だが、市民にとって必要なものを見逃したり、アンバランスな状況になるのを感じる。子育て支援策・高齢者施策・障害者施策、高齢者が活躍できる宇治市政であってほしいと思っています。</p> <p>【同様の主旨のご意見：他に2件】</p>	<p>本計画において、30年先を見据えた公共施設等全体に関する基本方針をお示しするわけですが、公共施設等は本市の政策と密接に関わりがあり、当然、市の政策内容とも整合を図っていく必要があります。したがって、市の政策も公共施設等も、必要なものを残すためには、今の段階から将来を見据え、子どもや孫など将来の宇治を担う次の世代のためにも、市民協働で公平・公正に議論し、削減の努力をしていくとともに、具体的な実施内容については、個別施設ごとの計画等を順次策定し、本市の最上位計画である総合計画やその中期計画で、具体化し推進してまいりたいと考えております。</p>	無
5	<p>公民連携には民間活力の導入が記載されておりますが、民間活力の導入という言葉に引きずられない様に。</p> <p>公共施設の管理、運営、整備等について、民間企業が”公共”施設に関わることになり。全ての市民に等しく、公平、公正かつ透明性をもって公共的サービスを保証することができるかと思う所です。</p> <p>【同様の主旨のご意見：他に2件】</p>	<p>厳しい財政状況の中、多様化する住民ニーズに的確に応えるとともに、持続可能な財政運営を行うため、民間事業者のノウハウ等を活かし、市民サービスの充実と経費の削減に努めていく必要があると考えております。民間活力の導入については、市民サービスの低下を招かないよう、その効果を十分検討し、推進する必要があると考えております。いただいたご意見を踏まえて、民間活力の導入についてはその効果を十分検討した上で進めていく旨、記載を追記します。</p>	有
6	<p>使用料が高くて気軽に使えない所があります。住民の自主的活動が盛んになるためには場所が必要です。他市の状況も調査して改善を図ってください。</p> <p>【同様の主旨のご意見：他に1件】</p>	<p>施設の使用料については、受益者負担の観点より、管理コスト等を基礎に設定しております。</p> <p>今後も、より公平かつ適正な受益者負担の観点も踏まえながら、常に検証し、必要に応じて見直したいと考えております。</p> <p>したがって、施設の使用料の見直しに関する記載を追記します。</p>	有

1. 本計画対象内容に関する意見と考え方

No.	ご意見等の概要	市の考え方	修正の有無
7	<p>地域住民が気軽に学べ様々なことを話し合う場所の確保は、これからの社会にとって、とても重要なものとなります。建替え等は、住民の意見を聞いていくべきです。市民との対話の機会や仕方を考えてほしい。</p> <p>【同様の主旨のご意見:他に9件】</p>	<p>公共施設等アセットマネジメントは、市民の皆様や議会、関係団体等と施設情報を共有し、市民参画の機会を確保した上で、協働により推進していくことが重要であると考えております。公共施設等総合管理計画の策定にあたっては、市民懇談会や出前懇談会、シンポジウムを開催するとともに、初案の概要版を作成し、市政だよりやホームページにより公表しておりますが、今後も情報発信や市民参画の機会の確保に努めてまいりたいと考えております。個別施設管理実施計画の策定等、公共施設等総合管理計画の具体化を進める際には、地域ごとに様々な角度から検討できる仕組みをつくっていきたくて考えております。</p>	無
8	<p>公民館は、耐震補強をして存続させてください。バリアフリーの建物にしてください、存続することを希望します。</p> <p>【同様の主旨のご意見:他に8件】</p>	<p>人口減少、少子高齢化を見据え、財政状況や市民ニーズを勘案し、公共施設等のあり方を検討していく必要があると考えており、公民館につきまして、施設の利用状況や老朽化、地域ごとの事情を総合的に判断するとともに、生涯学習活動の施設のあり方についても検討してまいります。</p> <p>なお、耐震性能や経過などにおいて課題があり、早急に対応が必要な公共施設については、早期に個別施設管理実施計画を策定等するとともに、実施にあたっては、本市における最上位計画である総合計画の中期計画に位置づけて取組を進めてまいりたいと考えております。</p>	無
9	<p>集会所等はサークル活動等で市民の利用が多く、利用頻度等を把握していただき、存続することを望みます。</p> <p>【同様の主旨のご意見:他に9件】</p>	<p>人口減少、少子高齢化を見据え、財政状況や市民ニーズを勘案し、公共施設等のあり方を検討していく必要があると考えており、集会所につきまして、施設の利用状況や老朽化、地域ごとの事情を総合的に判断するとともに、地域コミュニティ等の施設のあり方についても検討してまいります。</p>	無
10	<p>集会所について、現状の需要とは無関係に配置されている場合が多いため、利用状況を確認の上、基本方針のような対応が相当。地域コミュニティ活動、地域福祉活動をどのように補ってゆくかの対策が必要です。</p>	<p>人口減少、少子高齢化を見据え、財政状況や市民ニーズを勘案し、公共施設等のあり方を検討していく必要があると考えており、集会所につきまして、施設の利用状況や老朽化、地域ごとの事情を総合的に判断するとともに、地域コミュニティ等の施設のあり方についても検討してまいります。</p>	無

1. 本計画対象内容に関する意見と考え方

No.	ご意見等の概要	市の考え方	修正の有無
11	<p>集会施設、社会教育施設について、利用状況を把握し不要なものは公民館的性格への転用ができないか。生涯学習活動は評価できるので、機能を保存すべきです。</p> <p>身近な施設、災害時の拠点からは必要と考えます。</p> <p>【同様の主旨のご意見：他に1件】</p>	<p>第5章の施設類型ごとの管理に関する基本的な方針で、施設類型ごとの基本的な方針を定めており、「③基本的な考え方」の全体的な方向として、公共施設の将来の更新費用の試算等の費用分析や、公共施設の整備や管理運営などの手法についての市民アンケート調査の結果や出前懇談会でのご意見などを踏まえ、複合化や長寿命化などを基本とするとともに、これまでの経過や耐震性能に課題がある施設については、個別に具体的な方向性も記載しておりますが、今後、各公共施設の状況に応じて、今後、策定する個別施設管理実施計画では、本計画で掲げる公共施設全体の削減目標値を踏まえながら、市民が参画する機会を確保するなどした上で、各種方針に沿って具体的な内容や年次計画を策定してまいりたいと考えております。</p>	無
12	<p>耐震補強については命にかかわる事なのでしっかりとしてほしい。</p>	<p>耐震性能や経過などにおいて課題があり、早急に対応が必要な公共施設については、早期に個別施設管理実施計画を策定等するとともに、実施にあたっては、本市における最上位計画である総合計画の中期計画に位置づけて取組を進めてまいりたいと考えております。</p>	無
13	<p>社会教育系施設では、他都市を見ると、図書館を中心とした複合施設にしてまちづくりがされているのをみかけます。施設がバラバラでなく、利用しやすい施設のあり方をお願いします。</p> <p>【同様の主旨のご意見：他に1件】</p>	<p>本計画において、30年先を見据えた公共施設等全体に関する基本方針をお示しするわけですが、公共施設等は本市の政策と密接に関わりがあり、当然、市の政策内容とも整合を図っていく必要があります。したがって、市の政策も公共施設等も、必要なものを残すためには、今の段階から将来を見据え、子どもや孫など将来の宇治を担う次の世代のためにも、市民協働で公平・公正に議論し、削減の努力をしていくとともに、具体的な実施内容については、個別施設ごとの計画等を順次策定し、本市の最上位計画である総合計画やその中期計画で、具体化し推進してまいりたいと考えております。</p>	無

1. 本計画対象内容に関する意見と考え方

No.	ご意見等の概要	市の考え方	修正の有無
14	<p>小中学校のトイレをはじめ、老朽化対応を行うべきです。幼稚園、小中学校の統廃合には反対です。</p> <p>【同様の主旨のご意見:他に9件】</p>	<p>小中学校については「宇治市小中一貫校教育と学校規模等の適正化の方向～NEXUSプラン～」に基づき、小中一貫教育システムの構築や学校規模・配置の適正化などに取り組んでおります。また、多くの学校の建替え時期が集中しており、建替えには多額の予算が必要となります。いずれにいたしましても、今後の人口減少や少子化の状況なども踏まえ、具体化に向けて検討してまいりたいと考えております。また、小中学校について、市民ニーズや児童、生徒数の状況を踏まえる中で、施設のあり方を検討してまいりたいと考えております。</p>	無
15	<p>保育所、幼稚園の削減には反対です。</p> <p>【同様の主旨のご意見:他に2件】</p>	<p>第5章の施設類型ごとの管理に関する基本的な方針で、施設類型ごとの基本的な方針を定めており、「③基本的な考え方」の全体的な方向として、公共施設の将来の更新費用の試算等の費用分析や、公共施設の整備や管理運営などの手法についての市民アンケート調査の結果や出前懇談会でのご意見などを踏まえ、複合化や長寿命化などを基本とするとともに、これまでの経過や耐震性能に課題がある施設については、個別に具体的な方向性も記載しておりますが、今後、各公共施設の状況に応じて、今後、策定する個別施設管理実施計画では、本計画で掲げる公共施設全体の削減目標値を踏まえながら、市民が参画する機会を確保するなどした上で、各種方針に沿って具体的な内容や年次計画を策定してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、幼稚園、保育所について、市民ニーズや園児の状況を踏まえる中で、施設のあり方を検討してまいりたいと考えております。</p>	無

1. 本計画対象内容に関する意見と考え方

No.	ご意見等の概要	市の考え方	修正の有無
16	<p>今後、市の人口や納税者の減少が予測される中で市の公共施設等を削減することには一定の理解ができます。しかし太閤堤付近への投資を減らして公共施設の20%削減案を減らすことが可能ではないでしょうか。</p> <p>【同様の主旨のご意見:他に1件】</p>	<p>太閤堤跡の整備事業については、平成19年に太閤堤が発見され、史跡指定を受け、あわせて宇治茶の発信や宇治観光の発信拠点ゾーンとして、歴史的風致維持向上計画について、国の認定を受けて取り組み、国庫補助の交付も受け、整備を進めてきたところであります。人口減少社会においても宇治のまちが持続的に発展するためには、宇治の特性を活かして地域を豊かにしていくことが重要であり、宇治の歴史や文化、宇治茶の魅力を活かした歴史まちづくりは本市の成長戦略として積極的に取り組む必要があると考えております。こうしたことから、宇治の歴史や文化を総合的かつ分かりやすく伝えるためのミュージアムや、宇治茶の体験などを通じて日本茶の原点である宇治茶のことをもっと知っていただく施設の整備が必要と考えております。また、この間、お茶の京都の取組や日本遺産の認定などが進められております。</p> <p>一方で、本計画につきましては、本市が現在保有している全ての公共施設及びインフラ資産を対象としており、人口減少や少子高齢化の進展が予測される中、施設の老朽化や市民ニーズの変化、厳しい財政状況などにより、全ての公共施設等を維持していく事は難しいと考えており、将来のまちづくりを見据え、公共施設等が担う役割を十分認識しながら、市民の皆様との協働により、公共施設等の更新・統廃合・長寿命化等に総合的・計画的に取り組んでまいりたいと考えております。</p>	無